

26年6月分 合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 1

1. 調査実施期間 平成26年 5月20日～ 26年6月10日

2. 調査実施方法

全国の合板工場-1に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
6月分の回答企業数は7社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 国産原木入荷動向 Weight. D. I.

品目	26/6月	7月	8月	
入荷動向	スギ	66.7	33.3	33.3
	ヒノキ	△ 25.0	△ 25.0	△ 25.0
	カラマツ	16.7	△ 16.7	△ 25.0
	トドマツ	0.0	0.0	△ 33.3
消費動向	スギ	33.3	33.3	16.7
	ヒノキ	25.0	25.0	0.0
	カラマツ	0.0	0.0	0.0
	トドマツ	0.0	33.3	33.3
在庫動向	スギ	33.3	16.7	16.7
	ヒノキ	△ 25.0	△ 25.0	△ 25.0
	カラマツ	16.7	△ 16.7	△ 33.3
	トドマツ	33.3	0.0	△ 33.3

スギ原木の入荷は増加傾向で推移、ヒノキは減少傾向で推移、カラマツは6月の増加が、7,8月には減少に、トドマツは6,7月の横ばいが8月には減少に。

スギ原木の消費は増加傾向で推移、ヒノキは6,7月の増加が8月には横ばいに、カラマツは横ばいで推移、トドマツは6月の横ばいが7,8月には増加に。

スギ原木の在庫は増加傾向で推移、ヒノキは減少傾向で推移、カラマツは6月の増加が7,8月には減少に、トドマツは6月の増加が8月に向け減少に。

(2) 合板用原木購入価格動向 Weight. D. I.

品目	26/6月	7月	8月
スギ	16.7	0.0	0.0
ヒノキ	25.0	0.0	0.0
カラマツ	16.7	16.7	0.0
米マツ	△ 20.0	0.0	0.0
北洋カラマツ	0.0	0.0	0.0
その他	-	-	-

スギ及びヒノキ原木価格は6月の強保合が7,8月には保合に、カラマツは6,7月の強保合が8月に保合に、米マツは6月の弱保合が7,8月には保合に、北洋カラマツは横ばいで推移。

モニターからのコメント

(原木荷動き) ・スギ及びヒノキ共に入荷多く、市場価格下げているため合板向けを増やしている模様。稼働は通常ベース、5月は連休で消費少なかったが6,7月は稼働日多く、消費も増える。スギ在庫は適正、ヒノキ在庫は非常に多く、6月より入荷制限。

・安定的に入荷している。特にスギ材が増加傾向にある。カラマツについては2m材がやや増、梅雨、夏期ずれ不安。消費は計画通り。スギ在庫が増加。

・入荷はスギ指定の製品及び物件が増加、消費は大きく変わらず、在庫は梅雨入り含め需要期前の調整。

・入荷好調、消費予定変更でトドマツ在庫増、入荷増で在庫増。

・入荷はスギ、カラマツともに5月よりは良くなってきている。入荷に合わせて消費、在庫は少なく入荷分を消費しているため横ばい。

・入荷は、スギは順調、カラマツは集まりにくい。

(原木価格) ・在庫調整と虫害対策で価格下げる、夏場以降は状況見ながら価格決定。

・カラマツは未だ上昇傾向にある、先行き品薄感も見られる。

・各地対応まちまち。

・上げどまり。

・国産材は横ばい、外材は強気姿勢は変わらない。

・全ての材について上昇含み(丸太の取り合い)、特にバイオマス関連注意。

26年6月分 合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 2

4. 調査結果の概要

(1) 生産動向 Weight. D. I.

品目		26/6月	7月	8月
生産動向	構造用(9mm)	0.0	△ 16.7	△ 16.7
	〃 (12mm)	0.0	△ 14.3	△ 14.3
	〃 (15mm)	0.0	0.0	0.0
	〃 (24mm)	0.0	0.0	0.0
	〃 (28mm)	16.7	0.0	0.0
出荷動向	構造用(9mm)	△ 83.3	20.0	20.0
	〃 (12mm)	△ 57.1	16.7	16.7
	〃 (15mm)	△ 50.0	20.0	20.0
	〃 (24mm)	△ 85.7	0.0	16.7
	〃 (28mm)	△ 71.4	0.0	16.7
在庫動向	構造用(9mm)	66.7	40.0	0.0
	〃 (12mm)	85.7	33.3	0.0
	〃 (15mm)	50.0	0.0	△ 40.0
	〃 (24mm)	85.7	16.7	△ 33.3
	〃 (28mm)	85.7	16.7	△ 33.3

9mm及び12mm構造用の生産は6月の横ばいが7,8月には減少に、15mm及び24mmは横ばいで推移、28mmは6月の増加が7,8月には横ばいに。

9mm、12mm及び15mmの出荷は6月の大幅減が7,8月には増加に、24mm及び28mmは6月の大幅減が8月に向け増加に。

9mm及び12mmの在庫は6,7月の大幅増が8月には横ばいに、15mm、24mm及び28mmは6月の大幅増が8月に向け減少に。

(2) 構造用合板出荷価格動向 Weight. D. I.

品目		26/6月	7月	8月
構造用(9mm)		0.0	0.0	16.7
〃 (12mm)		0.0	△ 16.7	16.7
〃 (15mm)		0.0	△ 16.7	16.7
〃 (24mm)		0.0	△ 16.7	16.7
〃 (28mm)		0.0	△ 16.7	16.7

9mmの出荷価格は6,7月の横ばいが8月には強保合に、12mm、15mm、24mm及び28mmは6月の保合が7月の弱保合を経て8月には強保合に。

モニターからのコメント

(合板荷動き) ・製品在庫少なく6月以降も通常生産。住宅着工減により厚物(24及び28mm)の動き悪い。梅雨明け以降に期待。在庫増えるが適正在庫までには、ほど遠い。
 ・出荷量減少するも計画通り生産。出荷は前月同様市況に動きなく減少傾向が続いている、5月は特に本止まり状態、6月下旬以降に期待。在庫は全品種とも全体的に増加。
 ・9mm生産は出荷に合わせて縮小、出荷は9mmは住宅一段落の状態動き悪い、28mmは住宅以外の用途で物件あり、9mm～12mmの在庫増える。
 ・生産変わらず、出荷は5月と同じか多少減の見込み、適正在庫に近づく。
 ・12mmは多少生産増、その他はほぼ先月並み、お客の今持っている在庫を中心に消化しているので新規オーダーは取れないでいる、出荷量少なく全品目在庫は増えるだろう。
 ・6月出荷の動き悪いが、徐々にプレカット等仕事入っている、在庫は秋に向け不足あり。

(合板価格) ・荷動きの一服感から価格横ばい、在庫も少ないので夏以降の荷動きに期待して、様子見続くと予想。
 ・6月に入りメーカー間で価格の差異が生じてきている、安値にならないよう踏んばり所。
 ・若干弱含み。
 ・荷動き悪く、価格は弱含みの横ばい。
 ・原木、副資材、運賃等コストUP要因多し。
 ・